



第32回矢沢地区グラウンドゴルフ大会開催



日本海の小低気圧と北からの高気圧の影響で、層雲が低くたなびき、霧雨や小雨が芝生を濡らす6月19日(土)。矢沢地区自治公民館連絡協議会(伊藤昇会長)は、第32回矢沢地区グラウンドゴルフ大会を開催しました。当地方の梅雨入りとなったこの日、この時期らしい涼しさの中、中総体の野球大会で野球少年が熱戦を繰広げる日居城野運動公園内の野球場。その隣で中学生にも負けず、各公民館から参加した皆さんは澁刺と日ごろの練習の成果を発揮しました。59名の方がエントリーしていましたが、コロナワクチンの接種などの影響で52名の参加となりました。当日は天候が心配されたため、24ホール休憩なしで行われ、高木小路の佐藤忠行さんが58の好スコアで優勝を飾りました。(上位の結果は下表参照・敬称略)



上位入賞者の皆さんと伊藤会長(右)

順位	氏名	地区	打	順位	氏名	地区	打
1位	佐藤忠行	小路	58	6位	菅原陸郎	堰袋	65
2位	古川和男	荒屋敷	59	7位	小田島眞吉	荒屋敷	66
3位	小田島克郎	二津屋	63	8位	齊藤都子	団地	67
4位	小田島正二	穂貫田	63	9位	菊池誠治	安野	68
5位	富沢親孝	下通	64	10位	三浦正夫	安野	68

消防本部からのお知らせ

住宅用火災警報器は10年を目安に交換しましょう!

花巻市では、平成18年6月1日から新築住宅に、平成23年6月1日からすべての住宅に住宅用火災警報器の設置が義務付けられました。

この住宅用火災警報器、10年を目安に交換することが推奨されています。皆様のお宅の住宅用火災警報器は、設置されてから何年経っていますか?この機会に確認してみましょう。

どうして交換しなければいけないの?

住宅用火災警報器の電池の寿命は、一般的なもの約10年とされています。「電池切れならば、電池を交換すれば良いのでは?」と思われるかもしれませんが、古くなると本体内部の電子部品の劣化により、火災を感知しなくなるおそれがあります。

皆様自身だけではなく、皆様の大切なご家族や財産を守るためです。

10年を目安に、本体を交換しましょう。

10年経ったら交換しましょう



住宅用火災警報器交換のおすすめ
10年たったら、
とりかえる。



出典：一般社団法人
日本火災報知機工業会

(問い合わせ) 消防本部予防課 (電話：22-6123)



グラウンドゴルフ大会開会式の模様

「危険予測トレーニング」で交通事故ゼロを！

6月25日、明老大学6月例会では、矢沢駐在所所長の小原織絵さんと花巻警察署の交通係長・坂本精氏が「危険予測トレーニング」と題して講話を行いました。当日は45名の明老大学生が聴講し、交通安全への行動を再確認していました。

✿7月例会は7月14日(水)10時～ 「楽しく歌いましょう！」



小原矢沢駐在所所長

● 自覚しておきたい、高齢者にありがちな特性 ●

- ・脚力が弱まり、歩く速度が遅く、自転車をこぐ力が弱くなりがち。
- ・視機能が衰え、近づいてくる車のスピード感や車との距離感に狂いが生じがち。
- ・夕暮れどきや夜間は特に、目のはたらきが弱くなりがち。
- ・運転免許を持っていない人は、車側の安全確認を頼りにしがち。



事務室からのお願い！【冷房料について】

矢沢振興センターでは、大広間(3台)と2階談話室に冷房施設があります。ご使用後は、事務室に冷房料をお支払い願います。

大広間	1台：1時間*70円
談話室	1台：1時間 70円

*使用時間は30分未満を切り捨て、30分以上は切り上げます。

*大広間は1台当たりの使用料。2台使用する場合は、時間差で電源を入れてください。

交付金事業査定委員会を開きました

今年度も矢沢地域振興会の理事を通じて、各団体や行政区から60の交付金事業の要望書が提出されました。事業採択については予算等を考慮しながら6月22日に開かれた査定委員会で検討、7月16日(金)開催の役員会で決定します。

移動図書館車巡回日程(ざんが号・あやめ号)

7/7(水)	団地会館	13:30~13:50
7/14(水)	高木観音	09:20~09:50
7/14(水)	振興センター	10:05~10:35
7/14(水)	やさわこども園	10:50~11:20
7/28(水)	幸田公民館	09:30~09:45
7/28(水)	平良木公民館	14:10~14:20

【事務局員のつぶやき】(上空の気圧の谷の影響)

6月14日の地上天気図をみると、梅雨前線ははるか南海上にあり、東北地方は北からの高気圧に緩やかに覆われ一見穏やかそうに思われる天気図。しかし盛岡地方気象台では、朝の5時25分に発表した気象情報で、「上空に寒気を伴った気圧の谷の影響により、内陸を中心に大雨となる所がある」と、警報級になる可能性に言及して注意・警戒を呼びかけました。この日は花巻の最高気温が31.2℃(平年差+6.4℃)を観測するなど日中の気温が上昇。このこともあって昼頃には花巻市と遠野市境を中心に雷雲が発達。14時頃には西の方に広がり、矢沢振興センター付近でも20数分間激しい風雨が続ききました。NHKの全国ニュースで遠野から降雹の動画が写されていました。この不安定な天気は15日も続き午後には、「岩手県記録的短時間大雨情報(大雨警報発表中に数年に一度程度しか発生しない短時間強雨)」が発表され、雫石町付近で約120mm、紫波町付近と奥州市西部付近で約100mmの猛烈な雨を観測(解析雨量)。上空の寒気(気圧の谷)の動きは遅く「雷3日(かみなりみっか)」のことわざどおり16日も不安定な天気は続きました。

後で6月15日09時の高層天気図を確認すると、850hPa(上空約1,560m)は暖気場、これに対し500hPa(上空約5,700m)は寒気場(気圧の谷)となっていました。秋田の資料では850hPa14.1℃(平年値11.2℃)、500hPa-14.3℃(平年値-11.8℃)、このように下層が暖まっているところに、上空に強い寒気が入り、大気の状態が不安定となり強い上昇流が発生し各地に雷雨をもたらしました。こうした不安定性降水の発生の可能性はかなりの高い確度で予想できても、いつどこに?というピンポイントの予報はまだ難しいようです。

